2025　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	日常生活援助論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	1年生教室・実習室
担 当 教 員	松本　幸恵 徳田　恵理子	実務経験とその関連資格	医療施設にて看護師として勤務していた。			

《授業科目における学習内容》

身体の機能が正常に機能し、維持できるための栄養・代謝及び排泄とその援助技術を学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

筆記試験　70%(※小テスト点を含む)
レポート等提出物　30%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

系統看護学講座　専門分野　基礎看護学[3]　基礎看護技術Ⅱ(医学書院)
根拠と事故防止からみた　基礎・臨床　看護技術　第3版　(医学書院)

《授業外における学習方法》

シラバスに沿って次回授業について予習し、必ずメモを取りながら授業に臨みましょう。授業後は配布資料・ワークシートや教科書で振り返り、復習しましょう。提出物の記録内容は、指示に沿った形式で作成してください。また評価につながるため期日は厳守してください。

《履修に当たっての留意点》

講義と演習を組み合わせて行います。実習室へ入りますので、身だしなみに十分気をつけましょう。
羞恥心やプライバシーに配慮し、常に安全と安楽を意識して行いましょう。
分からないことは、その日に解決できるように自主的に学習しましょう。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	人間にとっての食事の意義や食事に影響を与える因子が理解できる。	テキスト, DVD, プロジェクター スクリーン, ワークシート	テキストを読んでおく。〈30分〉 本日の講義を復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	食事・栄養摂取の意義について 嚥下・消化吸収のしくみと働きについて		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	食事援助におけるアセスメントの視点とアセスメントに際して必要な知識について理解できる。	テキスト, DVD, プロジェクター, スクリーン, ワークシート	テキストを読んでおく。〈30分〉 本日の講義を復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	栄養状態のアセスメント 水分摂取量と排泄量のバランス、電解質バランスのアセスメント 食欲のアセスメント		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	食事援助におけるアセスメントの視点とアセスメントに際して必要な知識について理解できる。	テキスト, DVD, プロジェクター, スクリーン, ワークシート	テキストを読んでおく。〈30分〉 本日の講義をまとめる(20分)
		各コマにおける授業予定	摂食動作・咀嚼・嚥下機能のアセスメント 食生活変更の必要性と患者の認識・行動のアセスメント		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	食事介助の技術が習得できる。 対象の状況に合わせた食事援助技術が理解できる。	テキスト, DVD, プロジェクター, スクリーン, ワークシート	テキストを読んでおく。〈30分〉 本日の講義を理解する(30分)
		各コマにおける授業予定	対象の状況に合わせた食事の内容と援助技術について		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	口腔ケアの目的と基本的な知識について学ぶ。 根拠に基づいた援助の方法が理解できる。	テキスト、DVD, プロジェクター, スクリーン, ワークシート	口腔ケアの手順について予習しておく(30分) 講義内容について復習(20分)
		各コマにおける授業予定	口腔ケアの目的と根拠に基づいた援助について		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	食事介助の技術が習得できる。 対象の状況に合わせた食事の内容と援助技術が理解できる。 食事の学習を通して食事援助における看護師の態度を考えることができる	テキスト，ワークシート，スプーン，フォーク，箸，コップ，皿，フェイスタオル	食事援助の手順について予習しておく（30分） 演習をリフレクションする（20分）
		各コマにおける授業予定	食事介助における安全・安楽を理解し、実施する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	非経口栄養摂取の援助技術が理解できる。	テキスト、DVD，プロジェクター，スクリーン，ワークシート	「経鼻栄養法」についてテキストを読んでおく（30分） ワークシートで本日の講義を復習する（30分）
		各コマにおける授業予定	経腸栄養法の挿入経路と適応、基本動作、安全に管理するための援助技術について 経静脈栄養法の投与経路と適応、基本動作、安全に管理するための援助技術について		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	排泄の意義と排尿のメカニズムについて述べることができる。	教科書（基礎看護技術Ⅱ、看護技術プラクティス）、配布資料、パソコン、プロジェクター、スピーカー	事前学習：教科書Ⅱ第3章A①②を読む 事後学習：授業内容の振り返り。
		各コマにおける授業予定	排泄の意義 排尿のメカニズム		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	排便のメカニズムについて述べることができる。	教科書（基礎看護技術Ⅱ、看護技術プラクティス）、配布資料、パソコン、プロジェクター、スピーカー	事前学習：教科書を読む、ワークシートの記入 事後学習：授業内容の振り返り、排泄のワークシート記入
		各コマにおける授業予定	排便のメカニズム		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	自然排尿の援助の実際について述べ、実施上の留意点を考えることができる。	教科書（基礎看護技術Ⅱ、看護技術プラクティス）、配布資料、パソコン、プロジェクター、スピーカー、モデル人形	事前学習：教科書を読む、ワークシートの記入 事後学習：授業内容の振り返り、排泄のワークシート記入
		各コマにおける授業予定	自然排尿の援助の実際		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	自然排便の援助の実際について述べ、実施上の留意点を考えることができる。	教科書（基礎看護技術Ⅱ、看護技術プラクティス）、配布資料、パソコン、プロジェクター、スピーカー、モデル人形	事前学習：教科書を読む、ワークシートの記入。 事後学習：授業内容の振り返り、排泄のワークシート記入
		各コマにおける授業予定	自然排便の援助の実際		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	排泄援助の実際について述べ、実施上の留意点を考えることができる。	教科書（基礎看護技術Ⅱ、看護技術プラクティス）、配布資料、パソコン、プロジェクター、スピーカー	事前学習：教科書を読む、ワークシートの記入 事後学習：授業内容の振り返り。
		各コマにおける授業予定	便器を使用した排泄援助 おむつによる排泄援助（おむつ交換） ポータブルトイレによる排泄援助		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	導尿の概要について述べることができる。	教科書（基礎看護技術Ⅱ、看護技術プラクティス）、配布資料、パソコン、プロジェクター、スピーカー	事前学習：教科書を読む。 事後学習：授業内容の振り返り。
		各コマにおける授業予定	導尿 ①一時的導尿　②持続的導尿		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	浣腸、摘便、ストーマケアの概要について述べることができる。	教科書（基礎看護技術Ⅱ、看護技術プラクティス）、配布資料、パソコン、プロジェクター、スピーカー	事前学習：教科書を読む。 事後学習：授業内容の振り返り、排泄のワークシート記入
		各コマにおける授業予定	浣腸 摘便 ストーマケア		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	排泄の援助で必要留意点について考えることができる。	教科書（基礎看護技術Ⅱ、看護技術プラクティス）、配布資料	事前学習：ワークシートの記入 事後学習：授業内容の振り返り
		各コマにおける授業予定	事例を通して、状態に応じた排泄の援助方法の選択と留意点のまとめ		